

令和 7 年度版

青少年赤十字加盟校 担当者手引き



日本赤十字社埼玉県支部

は じ め に

青少年赤十字活動の推進については、日頃、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

青少年赤十字は、いのちと健康を大切にし、地域や社会のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としています。「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を柱とする実践活動、「気づき、考え、実行する」態度の育成は、現在、各学校が取り組んでいる「生きる力」を養う上で大いに役立つものと考えております。

当支部は、青少年赤十字の推進をとおして、学習機会や指導資料の提供、人材派遣等、加盟校の教育活動を積極的に支援していきます。先生方のよきパートナーとして、青少年赤十字を一層ご活用いただければ幸いです。

令和7年4月

日本赤十字社埼玉県支部

目 次

1	青少年赤十字加盟登録(新規・更新)事務手続き	．．．．．	P 2
2	青少年赤十字資材の請求・送付	．．．．．	P 3
3	学校における学習機会等の提供	．．．．．	P 5
	(1) 健康安全プログラムについて	．．．．．	P 5
	(2) 短期講習について	．．．．．	P 6
	(3) 提供できる学習テーマ一覧	．．．．．	P 6
4	研修機会の提供	．．．．．	P 7
5	その他	．．．．．	P 8
	(1) 募金活動の取り扱いについて	．．．．．	P 8
	(2) 収集活動の取り扱いについて	．．．．．	P 8
	(3) 国際活動への取り組みについて	．．．．．	P 9
6	事務連絡手続きについて(流れ)	．．．．．	P 10

お問い合わせ先：日本赤十字社埼玉県支部

事業部 青少年・ボランティア課 青少年係

TEL：048-789-7108

FAX：048-834-1520

MAIL：seisyonen@saitama.jrc.or.jp

1 青少年赤十字加盟登録(新規・更新)事務手続き

年度当初にあたり、青少年赤十字加盟登録(新規・更新)の事務手続きをお願いします。
 新年度の初めに新たにメンバーになった児童・生徒を含めて、全メンバー、指導者の人数等、必要な情報をご報告いただきますようお願いいたします。

○登録更新申込票の記入について

- 「青少年赤十字加盟登録(新規・更新)申込票」(様式1)をご使用ください。
- 複写を学校控えとして保管してください。
- 更新の手続きは5月末日までをお願いします。

様式1 記入例

日本赤十字社埼玉県支部
 事業部 青少年・ボランティア課あて
 FAX: 048-834-1520
 Email: seisyonen@saitama.jrc.or.jp

様式1

青少年赤十字加盟登録(新規・更新)申込票

申込日 令和 7 年 4 月 22 日

学校名		さいたま市立赤十字小学校				公印 (更新の場合は省略可)
所在地	住所	〒3300064 埼玉県さいたま市浦和区岸町3-17-1				
	TEL	048-789-7108	FAX	048-834-1520		
	Email	seisyonen@saitama.jrc.or.jp (代表アドレスを記入)				
学校長名		佐野 常良	担当教職員名		(職名) 教諭 (氏名) 大崎 優	

活動形態 (○をつけてください) ☒ 全校 ・ 学年 ・ 学級 ・ 委員会 ()
☐ 部活動 () ・ その他 ()

学年 又は グループ名	学級数又は グループ数	加盟メンバー数			当該 指導者数
		男	女	計	
1年	3	44	57	101	3
2年	5	68	76	144	5
3年	4	73	61	134	4
4年	4	65	72	137	4
5年	4	85	67	152	4
6年	4	65	64	129	4
特別支援学級	2	10	1	11	2
合計	26	410	398	808	26

全校学級数	全校児童・生徒数			全校 教員数
	男	女	計	
26	410	398	808	43

本校での主な活動 (複数回答: □へのチェック、カッコ内への記入をしてください)

☐ 清掃活動 ☒ 救急法 (児童生徒・教職員) ☒ 募金 (種類: 1円玉募金) ☒ 収集活動 (種類: ヘルマーク)

☐ 国際理解活動 (交流: 学芸) ☐ 地域交流 (対象: 老人福祉施設)

☒ その他 (地域クリーン作戦)

文化祭の日程(高校のみ): 年 月 日()・日()

通信欄

記載責任者 職名 教諭 氏名 葉藤 羅奈

※ 支部事務局使用欄 受付日 令和 年 月 日

「更新」の場合は、押印不要です。

メールアドレスは必ずご記入ください。

貴校で行っている活動(複数回答)をご記入ください。

高等学校のみ文化祭の日程をご記入ください。

該当するものを○で囲んでください。

全校加盟の場合、学年ごとにご記入ください。

委員会、部活動加盟の場合、その人数をご記入ください。

当支部から送付する資材や資料等について、あればよい資材など、ご要望等ございましたら、ご記入ください。

2 青少年赤十字資材の請求・送付

新しく青少年赤十字の仲間として迎える児童・生徒に、そのメンバーである「証し」のメンバー章（バッジ）やメンバーズカード等を送付します。また、学級、グループ単位、委員会等で活用していただきたい資材（署名票や掲示物）を送付します。

○資材申込書の記入について

- － 「資材申込書」（様式２）を、登録更新申込票（様式１）と一緒に送付してください。
- － 資材のお届けには通常２週間ほどかかりますので、お早めにお申込みください。
登録式等の都合でお急ぎの場合、あわせてお電話でご連絡ください。
- － 在庫の状況により、資材の発送が遅れる場合があります。

◆提供資材

	資材名称	提供数	活用例
①	青少年赤十字バッジ	新メンバー及び指導者数	制服、胸、名札、帽子等につけます
②	青少年赤十字ワッペン	必要数（基準数５０個/校）	活動時に左肩や左胸につけます
③	青少年赤十字メンバーズカード	メンバー及び指導者数	毎年度各自に配付します
④	署名票	学級数（グループ数）	登録式等で署名し、各学級に掲示します （１枚で４２人分の署名ができます）
⑤	ちかい・アンリー・デュナン肖像画	学級数（グループ数）	教室等に掲示します
⑥	青少年赤十字マークシール	上限３枚	青少年赤十字関係資材等に活用します

◆指導資料

	資料名称	提供数	活用例
⑦	小冊子「赤十字の父アンリー・デュナン」	上限３冊	指導資料として活用します
⑧	小冊子「赤十字ってなあに？」	上限３冊	指導資料として活用します
⑨	青少年赤十字指導者手引き	上限１冊	青少年赤十字担当教職員が閲覧します

◆新規加盟校用資材

以下資材は、新規加盟登録時にお届けしております。破損等により使用が困難になった場合は再度お届けしますので、当支部担当へお問い合わせください。

	資材名称	提供数	活用例
⑩	青少年赤十字旗	加盟校に各１枚	登録式等で掲揚します
⑪	青少年赤十字看板	加盟校に各１枚	昇降口等に掲示します



◆その他

以下資料は適宜、お届けいたします。

青少年赤十字指導情報(本社発行)	加盟校に各1部程度、年1回
青少年赤十字機関紙(本社発行)	加盟校に各1部程度、年1回
青少年赤十字フォトニュース(埼玉県支部発行)	加盟校に各1部程度、年1回
埼玉県青少年赤十字指導者協議会報(埼玉県支部発行)	加盟校に各1部程度、年1回
埼玉県青少年赤十字研究奨励費交付校研究集録(埼玉県支部発行)	加盟校に各1部程度、年1回

様式 2 記入例（様式 1 記入例の数値参照）

No.	資 材 名	申込数
1	青少年赤十字バッジ	127
2	青少年赤十字ワッペン	40
3	青少年赤十字メンバーズカード	851
4	署名票	15
5	ちかい・肖像画	15
6	青少年赤十字マークシール	3
7	小冊子「赤十字の父 アンリ ー・デュナン」	3
8	小冊子「赤十字ってなあに？」	3
9	青少年赤十字指導者手引き	1

新規メンバー、転入、破損・紛失、新規指導者分を記入（新メンバー 101 + 26）

50 個程度を上限に必要な数を記入
（委員会人数 40）

登録するメンバー数・指導者数を記入
全校加盟（808 + 43）

学級数・グループ数を記入

ご希望の資材を登録式で使用される場合は、
ご記入ください（※受領希望日の 2 週間以
上の余裕をもって、ご連絡ください）

通信欄			
登 録 式	令和 7 年	4 月 26 日	
資材受領希望日	令和 7 年	4 月 12 日	

3 学校における学習機会等の提供

道徳、特別活動、総合的な学習の時間や教科学習等において、赤十字のもつノウハウを活用し作製した教材の貸し出し及び職員等を派遣します。

（1）健康安全プログラム（救急法）について

生命を尊重し、健康で安全な生活を実現するために、学校生活における事故防止や手当の基本を学ぶことができます。

健康で安全な生活を送るために	食事・運動・休養と健康、病気や事故の予防 等
けがの予防と応急手当	止血法、三角巾やハンカチを使ったきずの手当 等
心停止の予防と救命手当	心肺蘇生、AEDの使い方、気道異物の除去 等
傷病者の運び方	搬送法

○実施にあたって

- ー 45 分からご希望の時間と内容で実施することができます。
- ー 参加児童・生徒に、修了証を交付することもできます。（小学生・中学生のみ）

（２）短期講習・セミナーについて

日本赤十字社埼玉県支部では、救急法講習以外にも、教職員の研修や学校の授業で児童・生徒が学べるように、以下のとおり短期講習や赤十字防災セミナーをご用意しております。

講習名	内容	問い合わせ先
健康生活支援講習	車いすの取り扱い方と高齢者との接し方、高齢者疑似体験	救護・講習課 講習係 (TEL:048-789-7109)
避難生活支援講習	避難所で生活する高齢者・乳幼児に対してできること	
幼児安全法講習	未就学児の事故予防と応急手当・救命手当	
水上安全法講習	着衣泳体験、自分自身を守るための浮具の使い方	
赤十字防災セミナー	自分と家族の命を守るための家具の安全対策 カリキュラム名「家具安全対策ゲーム（ＫＡＧ）／おうちのキケン（小学校５・６年生モデル）」 等	青少年・ボランティア課 ボランティア係 (TEL:048-789-7108)

（３）提供できる学習テーマ一覧

テーマ	提供できる資料	提供できる講座（講師派遣）
ボランティア	ボランタリー・サービス（Ｖ・Ｓ）に関する資料	「気づき、考え、実行する」子どもになるための理論と実践方法
防災教育	青少年赤十字防災教育プログラム教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」、防災すごろく、防災かるたの貸し出し	防災出前授業（グループワーク、災害救護体験談等）、非常食づくり体験
国際人道法	冊子「誰もが人間らしく生きるために」	国際人道法について
車いす	車いすの貸し出し	車いすについての学習と体験実習
高齢者の疑似体験	高齢者疑似体験セットの貸し出し	高齢者についての学習と体験実習
地雷	地雷模型セットの貸し出し	地雷および地雷被害者について
一元玉募金	一元玉募金に関する資料	一元玉募金のゆくえについて
世界で生きるこどもたち	冊子「世界で生きるこどもたち」 ネパールの水瓶の貸し出し	世界の問題について、わたしたちにできることとは
赤十字・青少年赤十字	貸し出し用ＤＶＤ・資料 (青少年赤十字指導者手引き Ｐ８２～Ｐ８５参照)	日本赤十字社について、事業紹介、青少年赤十字について
その他	災害救護活動、国際活動に関すること、その他については、埼玉県支部担当までお問い合わせください。	

○ 講師（指導者）の派遣について

日赤埼玉県支部から講師として指導者の派遣をご希望される場合は、事前にお電話により日程の調整をいただき、次の様式により依頼してください。

派遣費用は無料ですが、救急法等講習については教材費が発生する場合があります。

（例 人工呼吸用マスク １個 182 円）

様式例

(様式)		○ ○ ○ 第 ○ 号 令和○年○○月○○日
	日本赤十字社埼玉県支部事務局長 あて ○○学校長 印	
	青少年赤十字(登録式・校内研修・行事等) にかかる職員の派遣について(依頼)	
	標記について、下記のとおり開催したいので、講師を派遣してくだ さるようお願いいたします。	
	記	
	1 日 時 2 場 所 3 依頼内容 4 対象と人数 5 その他	
	担 当 : _____ T E L : _____ M A I L : _____	

4 研修機会の提供

日本赤十字社埼玉県支部では、令和7年度青少年赤十字関連の研修を以下のとおり実施します。各校の研究推進に有益と考えますので、積極的な参加をお願いします。

指導者の参加については、原則として当支部で交通費を負担いたします。

所属地区主催のリーダーシップ・トレーニング・センター、指導者協議会への参加もお願いします。

研修名	期日	参加対象
青少年赤十字担当指導者研修会（オンライン）	4月16日（水）	教員
青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター 指導者養成研修会（加須げんきプラザ・1泊2日）	6月28日（土） ～6月29日（日）	教員
小・中学生リーダーシップ・トレーニング・センター （加須げんきプラザ・2泊3日）	8月2日（土） ～8月4日（月）	小中学生・教員
高校生リーダーシップ・トレーニング・センター （名栗げんきプラザ・2泊3日）	8月7日（木） ～8月9日（土）	高校生・教員
青少年赤十字指導者研修会	8月19日（火）	教員

5 その他

(1) 募金活動の取り扱いについて

日本赤十字社の事業全般に活用させていただく活動資金及び以下の募金については、日本赤十字社埼玉県支部で受け付けております。

区分	内容	特徴
赤十字活動資金	日本赤十字社が行う人道支援活動に使用	平時には、災害時に対応する備えとして災害救護訓練やボランティア育成、救援物資の備蓄など、災害時には、被災地での救護活動などに使われます。
義 援 金	国内で発生した災害に対して受付	受け付けた義援金は、義援金配分委員会（被災都道府県が主体となって構成される。赤十字は構成メンバーの一員）で立てられた配分計画に基づき、市区町村を通じて全額が被災された方々へ届けられます。
海外救援金	海外での自然災害や紛争に対して受付	受け付けた救援金は、日本赤十字社をはじめ世界各国の赤十字・赤新月社が行う緊急国際支援や開発協力活動などの活動資金として使われます。
一円玉募金	青少年赤十字が行う教育支援活動に協力	途上国の子どもたちのため、教育支援や衛生改善などに使われます。青少年赤十字では、世界で苦しんでいる同世代の子どもたちのために、日頃のお小遣いの中から出せる金額で募金活動をすることによって「奉仕」の心を学ぶとともに、その国の文化や生活に関心を持って自ら調べることで「国際理解・親善」を深めます。 ※募金は1円玉に限りません ※金融機関へ硬貨をお持ち込みいただく際は、事前に硬貨を拭いて汚れを落とし、概算金額をお調べください

○日本赤十字社埼玉県支部へ寄託いただく場合

ご寄付は金融機関窓口を通じた振込をお願いいたします。なお、協力金融機関（埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、ゆうちょ銀行）からの振込みの場合は専用振込用紙により手数料を免除いただいておりますので、専用振込用紙の送付を希望される場合は、当支部担当者までお問い合わせください。

当支部に直接お越しになり、募金の引渡式（受領式）を希望される場合は、事前にお電話により日時等をご相談くださいますようお願いいたします。なお、振込をお願いしていることから、引き渡しは原則現金ではなく目録とし、また、式の様子は当支部の各種広報に使用させていただきますことを予めご了承ください。

(2) 収集活動の取り扱いについて

日本赤十字社では、現在、物品（使用済み切手、書き損じ葉書等）の取り扱いは実施しておりません。該当する団体等へ直接お申し出ください。

(3) 国際活動への取り組みについて

世界的な赤十字のネットワークにより、以下の活動を提供いたします。

① 海外メンバーへ作品を送る

トピックアルバム	日本の紹介やどんな生活を送っているのかを海外のメンバーに伝え、海外メンバーからも伝えてもらえるよう、海外の赤十字社との間でトピックアルバム等親善作品を交換することができます。 ※アルバム用紙の用意がございます。用紙や作成方法については、埼玉県支部までお問い合わせください。
海外親善作品	家庭科、クラブ活動や学級で手芸品等を作製して海外メンバーへ送ります。（作品内容等については事前にご相談ください。）

○注意事項

- － アルバム及び手芸品等の送付にあたり、相手先に返事（礼状等）を強要することはできません。国の情勢や習慣等で難しい場合もありますので予めご了承ください。
- － 手芸品等を送る場合、海外までの輸送に耐えられる品物（材質、大きさ、重量）をご検討ください。

② 海外メンバーを招く

埼玉県支部、本社の行う海外メンバー招へい事業では、実際の日本の教育活動を知る機会として、皆さまの学校へ訪問いたします。教育活動等への活用をご希望される場合は、当支部までお申し出ください。

6 事務連絡手続きについて(流れ)

